

## 2025年度インターンシップ受入テーマ一覧票/FY2025 Internship Items to be assigned

◆実習は日本語で行います/Internship themes listed will use Japanese as working language.

No.	受入可能部署名	実習実施場所	課題・テーマ	受入可能人数	受入条件			実習日数 (休日除く)	実習期間		実習日程 の調整	実習概要	備考
					専攻学科等	学年	その他		開始日	終了日			
J-1	研究開発部門 第三研究ユニット	筑波	多領域統合シミュレーション技術を活用した将来宇宙輸送・探査ミッションを対象としたシステム概念検討	3	理・工学専攻	修士1年～		10日間	8月25日	9月5日	可	本実習では、研究開発部門第三研究ユニットでの宇宙システムを対象とした多領域統合シミュレーション技術研究において構築したシステム検討ツールをもとに、将来宇宙輸送・探査ミッションを題材としたシステム概念検討を実施する。	
J-2	研究開発部門 研究推進部角田管理課	角田	角田宇宙センター広報/宇宙教育活動の検討及び実践	4	指定なし	大学2年以上	特になし	7日間	8月～9月		可	地域との連携を深める観点での広報・宇宙教育の取り組みについて学ぶ。得た知見を元に、より効果的な広報・宇宙教育の実施方法やツール等の検討及びプレゼンを行う。	
J-3	有人宇宙技術部門 宇宙医学生物学研究グループ	オンライン	宇宙医学研究の動向調査	5～6	医学・歯学・薬学・医療系、生物系、人間工学系	修士1年以上、ただし、医学英論文等を読み込める能力があれば学部生でも可とする	英語の医学系文献等を読むことに慣れている	10日間	8月4日	8月22日	不可	他国の宇宙機関の宇宙医学研究の重点分野やその変遷についてHPや文献から調査する。またさらに発展的な実習内容としては、将来の月・火星探査 ミッションへの重点課題を洗い出し想定し研究テーマを提案する。	・実習期間は8月4日～8日、18日～22日の10日間とします(8/9(土)～8/17(日)を除く)。 ・医学系研究の研究アドミニストレーターや研究インテグレーター/コーディネータに関心がある方も歓迎します。
J-4	宇宙科学研究所科学衛星運用・データ利用ユニット	相模原	宇宙科学研究所の科学衛星・探査機が取得した科学データ利用の体験	2	指定無し	大学3年～ 高専4年～	プログラミングの基礎的な知識が必要。	10日間	8月3日	9月26日	可	Pythonなどのプログラミング言語を用いて、まずは宇宙科学研究所のデータアーカイブ DARTS ( <a href="https://darts.isas.jaxa.jp/">https://darts.isas.jaxa.jp/</a> ) で公開されている科学データの利用方法を習得する。その後、参加者の興味や保有するスキルセットに応じて相談のうえ、個別の具体的なテーマを決定し、科学データを活用した研究開発や制作を体験する。テーマは、専門的な科学研究や実用的なWebアプリケーション開発にとどまらず、デザインやアート作品など幅広い領域を想定している。	日程は夏休み期間の参加者全員が参加可能な、原則として連続する10日間として調整する。
J-5	宇宙科学研究所・宇宙物理学研究系	相模原	宇宙科学研究所(ISAS)が公開する天文衛星データアーカイブの検証	2	指定なし	大学3年以上	Linuxの知識、Python等によるプログラミングに習熟していることが必要。	10日間	8月25日	9月5日	可	ISAS/JAXAでは、科学データアーカイブDARTS( <a href="https://darts.isas.jaxa.jp/">https://darts.isas.jaxa.jp/</a> )から、JAXAの探査機・衛星が取得したデータを公開するとともに、データ利用を促進するための様々なアプリケーションや解析ツールを開発している。今回のインターンシップでは、DARTSから公開されている天文衛星データの科学品質を検証し、アプリケーションや解析ツールの適切な動作を確認する。新たな科学データを追加したり、アプリケーション・解析ツールの機能改善を行う可能性もある。	天文学の基礎知識および天文データ解析の経験があることが望ましい。
J-6	宇宙輸送技術部門 鹿児島宇宙センター	種子島	鹿児島宇宙センターを活用した広報・地域連携手法の提案	4	指定なし	大学1年生以上	パワーポイントによる資料作成やHPを活用した情報発信に関する知識・関心があることが望ましい	7日間	8月～9月		可	種子島宇宙センターはロケットの打上げ射場を有するJAXAの事業所として、広報普及、教育、地域連携等の取り組みを進めている。本インターンシップでは、施設見学や各部署の職員との対話、地域へのヒアリング機会を通じて、種子島宇宙センターの新たな広報資源や地域連携手法を検討し、提案する。	実施期間は参加予定者と調整のうえ決定する。

◆実習は日本語と英語で行います/Internship themes listed will both English and Japanese as working language.

No.	受入可能部署名	実習実施場所	課題・テーマ	受入可能人数	受入条件			実習日数 (休日除く)	実習期間		実習日程 の調整	実習概要	備考
					専攻学科等	学年	その他		開始日	終了日			
No.	Dept. in charge	Filed centers *	Theme	student capacity	Major	Academic year	others	Training days	Start date	End date	Flexible training start/end date	Program Overview	Other information you should know
J-7	航空技術部門基盤技術研究ユニット Aviation Technology Directorate Fundamental Aeronautics Research Unit	調布(分室) Chofu(Branch)	大気突入技術に関する研究 Research on atmospheric entry	3	指定なし not specified			5	2025年8月25日 25/08/2025	2025年8月29日 29/08/2025	不可 No	大気突入時の環境を地上模擬する装置である、衝撃波管や軽ガス銃の運用に関わることで、その実験手法や原理を学び、大気突入技術に関する研究の一部を体験する。 Participants will learn the operational methods and principles of the shock tube and ballistic range, while experiencing research related to atmospheric entry technology.	